



おひさま

八代市教育サポートセンター
子ども支援相談室便り
令和5年 10月号
文責 江藤紀子

「不登校」の初期 ～家庭でできること～

「不登校」は、集団に対して心身がすくんでしまう状態

「不登校」は、高所恐怖症などと似ているところがあるかもしれませんが。高所恐怖症の人に説得したり、説教したりしても高いところへの恐怖はなくなりません。

心が疲れて学校に行きたくない時に、「誰だって嫌なことはあるけど登校してるんだよ。」と熱く説得されても、自信や元気は失われるばかりです。

大人でさえ、仕事に行けないくらい心が疲れることがあります。家族に話を聴いてもらって心と体が元気になることが必要です。



安心感を与える言葉かけをして、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目指し、支援していく必要があります。

(「文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」抜粋)

～安心感を与える家族の言葉かけ～

- ★「何か困っているなら、話を聴かせてね。」
- ★「うんうん、そうだったんだね。」
- ★「そんな中、頑張ってきたんだね。」
- ★「今日は一日、ゆっくり休もうか。」
- ★「また、不安になったらいつでも話を聴かせてね。」
- ★「家族が、あなたを守っているよ。」



※「聴く」は、根掘り葉掘り質問するのではなく、子供が話したい話を寄り添って聴くこと。

～家庭と学校とで協力し合う～

子供が登校を渋ったら、学校には、「体調不良」などの曖昧な伝え方でなく、子供のありのままの様子を伝え、相談しましょう。

担任の先生をはじめ、養護の先生、管理職の先生、スクールカウンセラーなど、チームで対応していただけたらと思います。

短時間登校、別室登校、リモート授業、教育支援センターの利用・・・など、いろいろな選択肢があります。

家庭と学校とが子供の「社会的自立」をめざして協力していくことが大切だと思います。

その子供に応じた対応を家庭と学校とで一緒に考えていきましょう。



イラスト「みんなの教育技術」より

子ども支援相談室 「不登校」など「子供」に関する悩み 遠慮なくご相談ください

●相談方法

- ・電話 0965-33-6145 (相談室直通)
- ・メール kodomo-sien@yatsushiro.jp
- ・面談 やつしろ子ども支援相談室 (八代市役所4階)

●相談時間 月～金曜日 午前9時～午後2時

※相談無料 匿名でも相談できます

右のQRコードを読み取って相談できます。

